

教師説明型

児童生徒発表型



熊本県荒尾市立中央小学校  
宮田直子

実践テーマ

共同解決場面において、児童の考えを実物投影機を用いて拡大提示することによって、児童相互の情報共有とともに、話し合い活動を活性化する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 ・本時に必要な既習事項を電子黒板に提示して、短時間で言葉や性質を確認する。  
・角の大きさに着目しやすいように角に色をつけて提示する。(つかむ・課題提示)
- 〈展開〉 児童が考えた方法やまとめたことを実物投影機で電子黒板に投影したり、再現しながら、それをもとに説明したり話し合ったりする。(発表内容の理解を助ける)
- 〈まとめ〉 角の大きさを色分けした画像を電子黒板に提示し、説明していくことで学習内容の定着を図る。(まとめる・まとめの提示)

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動  | 使用する教材<br>(デジタルコンテンツ等)  |
|-------|---|---|
| 導入    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を振り返り、角という言葉の確認及び角の大きさと辺の長さは関係ないことを確認する (PC教材)。</li> <li>・学習課題「いろいろな二等辺三角形や正三角形の角の大きさのひみつを調べよう」</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自作PC教材<br/>使用ソフトウェア：<br/>スクールプレゼンター((株)内田洋行)</li> </ul> |
| 展開    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたい三角形を選び、さまざまな方法を用いて調べる。</li> <li>・課題解決の方法を考える。</li> <li>・色紙を折ったり、映したりして角の大きさを調べる (実演)。</li> <li>・調べ方と結果を発表し、共通点や相違点を話し合う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童の考え方法やまとめたこと</li> </ul>                               |
| まとめ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習でわかったことをノートにまとめる。</li> <li>・児童の言葉をもとに本時のまとめをする (PC教材)。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自作PC教材</li> </ul>                                       |



電子黒板で課題提示することで、課題をとらえやすくし、課題解決に対する意欲も高める



実際に、どうやって調べたかを実物投影機で電子黒板に投影しながら、大きく映し出したり、再現したりすることで調べ方と結果をとらえやすくする



電子黒板で等しい大きさの角を色分けし、視覚的にとらえやすい画像を提示することで、学習内容の定着を図る

児童の反応・効果

- ・図形の拡大提示により、課題把握がスムーズに行われた。
- ・図形の拡大提示により、児童の集中力と算数的活動への意欲が高まった。
- ・実物投影機を用いて児童の発表資料を提示したことで、考えの共有と理解が深まった。
- ・まとめで本時に使ったデジタル教材を再度提示したことで思考の振り返りができ、理解が深まった。

活用のポイント

- ・デジタル教材の特性を生かして、画面上で拡大、縮小等さまざまな二等辺三角形及び正三角形に触れさせることで定義をより一般化できる。
- ・児童の思考の足跡は板書で、考えを発展させるなど動きのあるものは電子黒板でというように板書と電子黒板を使い分けることでより理解が深まる。